

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第163号 令和8年4月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 濱本 孝弘 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



目次

巻頭言	・・・1
『「専門職コミュニティ」であり続けるために—新年度を迎えて—』 公益社団法人 福岡県作業療法協会 副会長 丹羽 敦	
会長行動	・・・1
生涯学修制度について	・・・3
令和7年度第6回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録	・・・5
各部・委員会からのお知らせ	・・・8
学会参加体験記	・・・11
ライズ訪問看護ステーション大濠 平木 優里菜	
今津赤十字病院 新藤 浩	
Occupation	・・・13
『作業療法士の家族で設立したデイサービス じりつの13年目に寄せて ～作業の力とこれからの作業療法士へ～』 デイサービス じりつ 福満 まり子	
リレーエッセイ	・・・15
介護老人保健施設 高良台 長野 剛	



巻頭言

『「専門職コミュニティ」であり続けるために—新年度を迎えて—』

公益社団法人福岡県作業療法協会 副会長 丹羽 敦

専門職とは、資格を得た時点から学び続ける責任を負う存在であるのではないのでしょうか。

既知のことであると思いますが、超高齢社会の進展や地域包括ケアの深化に伴い、作業療法士に求められる役割は、医療機関にとどまらず地域生活のあらゆる場へと広がっています。このような時代に専門職として社会の信頼に応え続けるためには、知識や技能を常に更新し続ける「生涯学修」の実践が不可欠です。

生涯学修とは、新たな知見を学び、実践へと還元していく継続的な営みであり、その積み重ねが、作業療法士という専門職の質を社会に対して保証することにつながります。

一般社団法人日本作業療法士協会は「生涯学修制度」を通して専門的知識・技能の向上を支えています。その制度を活かすためには、会員一人ひとりの主体的な学びと、それを支える組織の取り組みが欠かせません。

公益社団法人福岡県作業療法協会（以下、本会）の役割は、単に研修の機会を提供することだけではなく、会員各々が日々の臨床での疑問や課題を見つめ直し、会員同士が経験や知見を共有しながら互いに学び合うことのできる文化を、地域の中に根づかせることが専門職団体としての重要な使命と言えます。そして、このような「専門職コミュニティ」の中で育まれた多くの作業療法士が地域で活躍することは社会的認知の向上に繋がるのではないのでしょうか。

作業療法士が社会から信頼される専門職であり続けるために、そして地域の人々の生活を支える専門職として成長し続けるために、本会は「学び続ける専門職集団」として、さらに歩みを進めてまいります。

会長行動(令和7年12月1日～令和8年2月28日)

12. 1 理事会
場所：飯塚市（らそうむ）
12. 2 筑豊ブロックタウンミーティング
場所：飯塚市（らそうむ）
12. 5 北九州ブロックタウンミーティング
場所：北九州市（小倉商工会館）
12. 7 自見はなこ政策セミナー
場所：北九州市（リーガロイヤルホテル）
12. 8 三役課題解決会議(Web)
12. 9 嘉麻市おひさま教室
場所：嘉麻市
12. 10 福岡ブロックタウンミーティング
場所：福岡市（お気軽会議室博多駅東oro）

12. 10 九州士会会長MTDLP研修 多領域におけるMTDLP実践事例報告会2025(Web)
-11
12. 14 福岡県介護予防推進指導者養成研修会
場所：福岡市（TKPガーデンシティ博多新幹線口）
12. 15 筑後ブロックタウンミーティング(Web)
12. 22 ふくおか健康づくり県民会議
場所：アクロス福岡 国際会議場
一般社団法人くるめ地域支援センター理事会
場所：久留米市役所
12. 28 田中真澄氏を偲ぶ会
1. 7 福岡市5歳児健診打ち合わせ
場所：福岡市役所13階 こども未来局
1. 12 直方市介護予防事業企画会議(Web)
三役課題解決会議(Web)
1. 14 福岡県障がい者介護給付費等不服審査会(Web)
日本OT協会ファシリテーター研修説明会(Web)
1. 18 訪問リハビリテーション実務者研修会
場所：九州大学病院百年講堂
1. 20 福岡県作業療法協会事務所会議(Web)
1. 23 一般社団法人くるめ地域支援センター理事会
場所：ホテルニュープラザ久留米
1. 24 第24回ハートメディア
場所：なみきスクエア
1. 28 大刀洗町5歳児健診
場所：大刀洗町
会館設立・収益事業構想委員会（タウンミーティングを受けて）(Web)
2. 1 福岡県介護予防推進指導者養成研修会
場所：福岡市（TKPガーデンシティ博多新幹線口）
2. 2 理事会(Web)
2. 9 三役課題解決会議(Web)
2. 10 福岡県作業療法協会事務所会議(Web)
2. 13 福岡県作業療法協会社員総会
場所：らそうむ
2. 15 福岡県介護予防推進指導者養成研修会
場所：福岡市（TKPガーデンシティ博多新幹線口）
2. 21 九州士会会長
場所：那覇市立病院
2. 27 一般社団法人くるめ地域支援センター理事会
場所：ホテルニュープラザ久留米
2. 28 日本作業療法士協会よんばち委員会(Web)

生涯学修制度について

・2025年度以降入会者は、新しくスタートした生涯学修制度の適応となります。これまでの旧・生涯教育制度の現職者共通・選択研修は受講対象外として、ポイントの付与や読み替えの申請が不可となります。ご注意ください。

・2024年度以前の入会者は、旧・生涯教育制度の基礎研修修了を2026年度末(2027年3月31日)までに終了することで、基礎研修の内容を読み替えることが可能です。経験年数に応じて、臨床実習指導者研修を受講されると登録OTの申請が可能となります。

・日本作業療法協会のHP内にて、「よくあるご質問」が随時掲載されています。

URL : <https://www.iaot.or.jp/about/faq/2633-n/>

※2025年4月より、日本作業療法士協会 新生涯学修制度がスタートしました。

下記、URLまたはQRコードより制度の概要を知ることができます。日本作業療法士協会より情報が届き次第随時、県協会公式LINEおよびHP等でお知らせします。

生涯学修制度ページ(日本作業療法士協会HP)

https://www.jaot.or.jp/continuing_education/shinsyogaigakusyu2025/



生涯学習制度プロモーション映像

<https://youtu.be/OiBTYoNeXt4>



認定作業療法士読み替え申請期間

2025年4月1日(火)～2026年10月31日(土) (必着)

<https://www.jaot.or.jp/files/page/kyouikubu/ninteiotyomikaeyouryou1204.pdf>



登録作業療法士読み替え申請期間

2027年4月～2029年3月末

※読み替え要件を満たす期限は2027年3月31日となっています。

https://www.jaot.or.jp/continuing_education/shinsyogaigakusyu2025/



Consulting for OT

作業療法士の知恵袋をテーマとした情報発信用のInstagramです。

日々の臨床での悩みや困りごとなど、気楽にご相談ください。

是非、フォローお願いします！

現在フォロワー数：203名



令和7年度第6回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会議事録

- I. 会議開催日：令和8年2月2日（月） 19：00 ～ 21：00
- II. 場 所：福岡県作業療法士協会事務所
- III. 理事総数：25名
- IV. 参加理事数：24名
- V. 参加者氏名：濱本孝弘，丹羽敦，佐藤稔，田中聡，松本信雄，玉野和男，手嶋雄太，久村悠祐，田中康平，靱井剛士，鐘ヶ江秀俊，松尾雅宜，許山勝弘，永田敬生，轟木健市，都甲幹太，青山克実，黒木勝仁，手嶋正弘，長城晃一，伊賀信也，峯崎佳世子，深町晃次，長彰純（以上，理事）．松永裕也（選挙管理委員長）
吉田秀樹，竹中祐二（以上，監事）．志井田太一（以上，相談役）
田邊慎一，平岡敏幸（以上，事務局）．（敬称略）

欠席者氏名：宮本香織（以上，理事）．

VI. 議長，書記選出

靱井剛士副会長が開会を宣言し，議長に定款第32条により濱本孝弘代表理事が選出された．代表理事より今後の活動と課題等対応について報告があった．ついで，議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として鐘ヶ江秀俊氏，田邊慎一氏が選出された．

VII. 議事の経過の要領及びその結果

議長は，本日の理事会は対面とWEB会議システムを利用し行う旨を述べ，出席者が一堂に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認した．

議長は上記のとおり定足数に足りる理事の参加が確認できたので本理事会は成立した旨を報告した．

審議事項

- 1) 賛助会員入会申請について（佐藤稔事務局長） →承認
賛助会員入会(申請有限会社 能力開発研究所)について提案があった．
- 2) 定款変更（外部理事選任）について（佐藤稔事務局長） →承認
公益社団法人法の改定により，外部理事1名以上設置が必須条件となることが報告され，定款変更についての提案があった．
- 3) 外部理事（会員外理事）選任の流れについて（佐藤稔事務局長） →承認
外部理事（会員外理事）の選任についての流れ，任期期間等，提案があった．
- 4) 50周年記念事業積立金の計画変更について（佐藤稔事務局長） →承認
50周年記念事業積立金の計画変更，50周年記念事業の予算検討について提案があった．
- 5) 査読委員の管理把握方法（更新の方法の見直し）について（松本信雄学術部担当理事） →承認
査読委員の増員に伴って更新作業等の対応が煩雑になることが想定されることから更新の方法を見直したいとの提案があった．

- 6) オンライン配信に係る講師承諾書の制定（松尾雅宣福岡東ブロック理事） →継続検討
 オンライン配信に係る講師承諾書（限定公開配信・再配信規定）の制定について提案があった。
 配信に係る金額設定や内容、配信期間等、見直しを行うこととなった。
- 7) トライアル入会制度（新卒作業療法士向け試行的入会制度）導入について
 （松尾雅宣福岡東ブロック理事） →一部修正の上、承認
 トライアル入会制度についての制度の内容、手続きの流れ等の提案があった。
- 8) 正会員の入会について（佐藤稔事務局長） →承認
 令和7年11月15日から令和8年1月13日までの新規入会者13名の承認について提案があった。
 また、会員数・F会員・F以外の会員の比率等について以下のように報告があった。
 （総会員数 3,139名 1月14日現在）
 F会員以外（自宅会員含む） 2,654名 84.6% ⇒自宅会員以外 2,390名・自宅会員264名
 F会員（自宅会員含む） 483名 15.4% ⇒自宅会員以外 369名・自宅会員114名
- 9) 令和8年度 役員改選および代議員改選について
 （松永裕也選挙管理委員長、鐘ヶ江秀俊財務担当理事） →承認
 令和8年度 役員改選および代議員改選について現時点での会員データ確定、代議員・役員定数、
 公示日等の提案があった。
- 10) 県学会における託児業者の選定について（松本信雄学術部担当理事） →承認
 第29回県学会において依頼する託児業者の選定について2社の提案があった。
 NPO法人チャイルドサポートセンターに決定した。

協議事項

- 11) 「人生が豊かになるヒント」SNS発信（TikTok）におけるシリーズ化について →承認
 （永田敬生事業部担当理事）
 40周年記念事業の一環として開始した「人生が豊かになるヒント」のSNS発信（TikTok）に
 おけるシリーズ化について提案があった。
- 12) コンプライアンス委員会の機能について（佐藤稔事務局長） →承認
 公益社団法人法の改定におけるコンプライアンス委員会設置義務化が示され、組織図改定と共に
 実動機能を検討したいとの報告があり内容や委員会のメンバーについて提案があった。
- 13) 市町村事業への会員推薦に関するシステム構築（手嶋雄太保健福祉部担当理事） →継続検討
 市町村事業への会員推薦に関するシステムの構築として、名簿登録制の導入（内容や仕様、
 管理者の選任）、教育体制の整備、推薦や出務等の規定の整備、周知、他職能団体との
 すり合わせ等、検討として提案された。各々の内容等、整理していくこととなった。

報告事項

- 14) 会館設立に向けたタウンミーティングについて（田中聡副会長）
 会館設立に向けたタウンミーティングでの意見等の報告があった。

- 15) 公益社団法人制度改革に関する研修会及び臨時社員総会について（佐藤稔事務局長）
2月13日予定の公益社団法人制度改革に関する研修会及び臨時社員総会についての内容報告があった。

VIII. 次回開催日

令和8年度 第1回理事会

日時：令和8年4月6日（月）19：00～21：00

場所：福岡県作業療法士協会事務所（※対面，WEB会議での実施予定とする）

IX. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって理事会が終了した。



各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 研修報告
 - (1) MTDLP推進部会
 - ①書き方研修：令和8年1月9日(オンライン)
参加者：13名
講師：長谷麻由(国際医療福祉大学)
 - ②事例報告会：令和8年1月15日
発表者不在にて未開催
 - (2) 臨床実習指導者講習会(オンライン80名定員)
第3回：令和8年1月24-25日
参加者：53名 F会員4名 非会員18名
 - (3) 令和7年度現職者共通研修(オンライン)
第2回：2026年1月24日(土)
いずれもオンラインにて実施予定
参加者：実参加者;35名(のべ参加者数;113名)

【学術部】

1. 第29回福岡県作業療法学会関連
 - (1) 学会準備委員会
 - 1月27日 全体会議 24名(web会議)
 - 1月14日 運営局会議 10名(web会議)
 - 1月13日 4役会議 24名(web会議)
 - 2月5日 運営局会議 8名(web会議)
 - 2月9日 全体会議 23名(web会議)
 - 2月24日 学術局会議 7名(web会議)
 - 2月25日 全体会議 24名(web会議)
 - 2月18日 ボランティア説明会 8名(web会議)
 - 2月21日 ボランティア説明会 6名(web会議)
 - 2月28日 前日準備
 - 3月23日 次年度学運営委員への引き継ぎ会議(web会議)
 - (2) 開催実績報告
 - ・開催日：令和8年3月1日(日)
オンデマンド配信(3月31日まで)
 - ・会場：久留米シティプラザ
 - ・学会長：末次亮平氏(嶋田病院)
 - ・学会テーマ：「真善美が紡ぐ作業療法の未来」
申込総数：499名
福岡県OT協会員：369名
他県士会OT会員及びPT/ST協会会員：14名
福岡県OT非会員：20名
学生：46名
オンデマンド(福岡県OT協会員)：45名
託児：4名
市民公開講座参加人数：101名
教育講演参加人数：242名
ワークショップ：ボンドアート体験：100名
学生企画：50名
発表演題数：58演題

次期学会：

- 第30回福岡県作業療法学会
担当：福岡東ブロック
学会長：武谷秀一氏(福岡青州会病院)
2. 学術誌
作業療法福岡24号は県協会HPより近日配信予定
3. 令和8年度次世代を担う研究助成事業の募集
募集期間：令和8年3月31日(火)まで
2件の応募あり

【企画委員会】

1. 会議報告
 - (1) 第10回企画委員会
開催日：令和8年1月23日(金) 19:00~21:00
形式：WEB会議 出席：7名
議題・報告事項
 - 1) 介護予防事務局より報告
2月18日開催予定のフォローアップ研修会について企画委員からの参加なし。
来年度はOT学生への見学受け入れを開始予定。準備を継続。
オンラインサロンについてはOT協会独自事業として継続検討。内容は手嶋理事等と調整。
 - 2) U29企画
1月18日開催(参加者3名+委員3名)。精神科領域からの参加はなし。
U29のオープンチャットも運用開始。
広報方法について反省：2ヶ月前からの告知開始複数回の広報
他研修でのPR機会確保などを検討する方針。
 - 3) 社会課題対応(OT協会としての取り組み)
テーマ「社会課題をどう考える」
3月6日(金)にZOOM開催決定(19:00~20:30)。クロスロードを用いた意見交換方式で実施。
 - 4) STEP UP研修会(令和8年度)
テーマ案：「できるあいつは協会員 ~OTキャリア形成のヒント~」
開催予定日：令和8年4月23日(木)(現地+オンラインのハイブリッド)
広報スケジュール・チラシ配布体制について調整。
 - (2) 第11回企画委員会
開催日：令和8年2月26日(木) 19:00~20:25
形式：WEB+対面のハイブリッド
出席：8名
議題・報告事項
 - 1) 介護予防事務局より報告
フォローアップ研修会(2/18)は30名参加。来年度は市の事業再編により縮小予定。

R8年度より「道の駅OT」（旧100万人の介護予防）として継続決定。

北九州市サービスC事業へ応募中（3/6結果）。

2) U29企画

3月1日の県学会にてブース展示（OTBASEカフェの様子・あるあるブース・3Dプリンタ展示など）。来年度の方向性について次回会議までに案提出。

3) 社会課題への取り組み

3月6日開催分をオンライン＋クローズド実施で調整。年3回程度の継続開催を目指す。

4) STEP UP研修会（令和8年度）

日時：令和8年4月23日（木）18:30受付（19:00開始）

形式：現地＋オンライン

会場：WATANABE 631（福岡市中央区）

Peatix公開中、広報は3/16・4/6に発信予定。

会場対応・物品準備などは3月中旬までに確認。

5) その他

ムーブフェスタ参加の是非について議論。

次回会議は 令和8年3月下旬 に開催予定（詳細日程は調整中）

(3) 第12回企画委員会（予定）

開催時期：令和8年3月下旬

令和8年度 人材養成研修会（STEP UP研修会）

開催日：令和8年4月23日（木）

テーマ：できるあいつは協会員 ～OTキャリア形成のヒント～

形式：現地＋オンライン（ハイブリッド）

Peatixにて申し込み受付中

【広報部】

1. 事業企画会議

第6回事業企画会議

日時：2026年2月23日（月）19時～20時

方法：オンライン会議

内容：(1)活動報告・予定

(2)県協会公式LINEに関して

(3)県協会HPに関して

2. 会報発行

第163号（2026年4月15日発行）発行

【福岡ブロック】

1. 会議報告

(1)令和7年度福岡ブロック事業企画会議

第6回 令和8年2月4日（水）20時～21時（WEB会議）

参加者：13名

(2)令和7年度福岡ブロック教育学術部会議

第5回 令和8年1月22日（木）19時～20時（WEB会議）

参加者：4名

(3)令和7年度第2回福岡ブロック主催事例報告及び検討会（WEB研修会）

日程：令和8年2月18日（水）19時～20時30分

発表者5名 聴講者8名

【北九州ブロック】

1. 活動報告

〈北九州ブロック〉

ブロック企画会議開催

令和8年1月5日（月）19:00～ Zoomミーティング

令和8年3月2日（月）19:00～ Zoomミーティング

〈小倉北・門司エリア〉

エリア事業企画会議開催

令和8年3月10日（火）19:00～ Zoomミーティング

〈小倉南・京築エリア〉

エリア事業企画会議開催

令和8年2月27日（金）19:00～ Zoomミーティング

〈八幡西・遠賀・中間エリア〉

エリア事業企画会議開催

令和8年2月16日（土）19:30～ Zoomミーティング

〈八幡東・戸畑・若松エリア〉

エリア事業企画会議開催

令和8年2月13日（金）19:30～ Zoomミーティング

【筑豊ブロック】

1. 会議報告

(1)令和7年度第5回筑豊ブロック事業企画会議

日時：令和8年1月21日（水）19:00～ zoom形式

参加者数：15名

(2)令和7年度第6回筑豊ブロック事業企画会議

日時：令和8年3月16日（月）19:00～ zoom形式

参加者数：8名

2. 研修報告

(1)第4回筑豊ブロック研修会

日時：令和8年1月15日（木）19時～21時

講師：安田由美先（デイサービスゆみ）

テーマ：その人を見てほしい～認知症だけで片付けてほしくない～

対象：認知症を学びなおす、考えなおす、新たな視点を持ちたい

方法：ハイブリッド開催

現地：らそうむデイサービス飯塚店

参加人数：30名

【福岡東ブロック】

1. 事業企画会議

(1)第1回福岡東ブロック事業企画会議

日時：2025年10月22日（水）19時00分～20時

場所：ZOOM

内容：理事会報告、研修会企画、ブロック運営、

参加者：15名

(2)第8回福岡東ブロック事業企画会議

日時：2025年10月30日（木）20時00分～20時50分

場所：ZOOM

内容：2月の研修会講師打ち合わせ

参加者：2名

九州作業療法学会 2027 IN 福岡

ORIGIN

自信と誇りで拓く、作業療法の未来



会期 2027年7月10日（土）～11日（日）会場 北九州国際会議場

学会長 梶井 剛士

主催 九州作業療法士会会長会

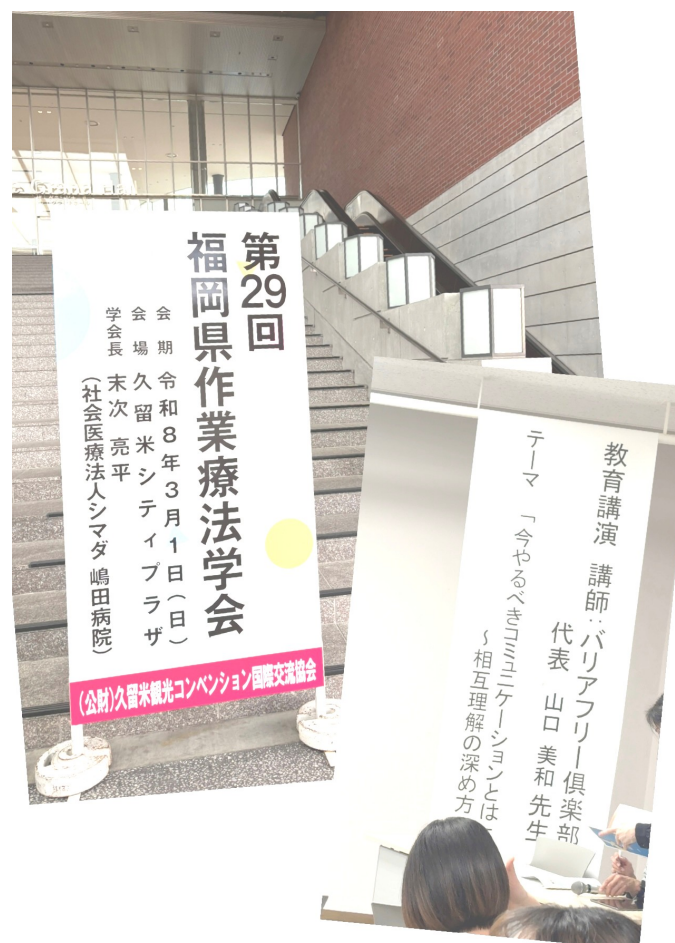
学会参加体験記

ライズ訪問看護ステーション大濠
平木 優里菜

私は訪問看護事業所に勤務して8年目になります。病院勤務時代はフレッシュな気持ちで患者様に向き合っていたのですが、近年は管理職として事業所運営に携わる機会が増え、「自分はOTとして十分に貢献できているのだろうか」と感じることも多くなっていました。そのような中で今回、第29回福岡県作業療法学会に参加し、基調講演や教育講演を拝聴する中で、自分自身の在り方やリハビリ以外での大切にすべきこと等、気づきを得ることが多くありました。

特に山口美和先生の教育講演を拝聴した際には、自分のコミュニケーションスタイルや周囲との関係性についてあらためて考えるきっかけとなりました。利用者様や関係機関からの訴え、スタッフからの相談などに向き合う中で、今の職務の中でもOTとして力を発揮できる場面があると感じ、気持ちが前向きになったことがとても印象に残っています。

今回、数年ぶりに学会へ参加しましたが、自分自身を振り返る貴重な機会となり、大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



学会参加体験記

今津赤十字病院
新藤 浩

当日は少し緊張しながら会場に入りました。会場では高校の卒業式もあっていました。緊張していたためか、誤って高校の先生に声をかけてしまい、大変恥ずかしい思いをしました。気を取り直そうと、ドライビングシミュレーターやボンドアートの体験コーナーに参加しました。楽しみながら参加でき緊張もほぐれました。

ビギナーズ発表もあり、比較的若い方の参加が多かったような印象でした。また、会場の雰囲気は、畏まらない感じであり気軽に参加することができました。

講演では、講師の先生の熱い想いに圧倒されながらも、このような先生のように仕事をしたいと思いました。今後の仕事への意欲、励みになりました。

コロナ禍でオンラインでの研修も確立されて便利になりましたが、実際に会場へ足を運んで、その場やその人の雰囲気を感じることも大切なものだと感じました。

このような素敵な学会を運営して下さった方々に感謝申し上げます。



Occupation

デイサービス じりつ
福満 まり子

『作業療法士の家族で設立したデイサービス じりつの13年目に寄せて
～作業の力とこれからの作業療法士へ～』

前回登場の鶴田君は私の教え子でした。まさか教え子からバトンをもらう日がくるなんて、と久しぶりの連絡に嬉しく思いました。ありがとうございます！

私は、約13年前に家族でデイサービス じりつを立ち上げ、現在「作業療法ができるデイ」を運営しながら、現場の作業療法士としても働いています。13年前、6ヶ月の長男をおんぶしてじりつの作業療法を作り上げていたことが懐かしく思い出されます（Instagramで少しでもバズったのでよかったら見て下さいね#デイサービスじりつ）。

じりつには設立当初からずっと変わらない想いがあります。それは「作業はひとを元気にする」ということ。作業療法士にとってはあたり前のように、今このことをちゃんと実践できているOTが少なくなっているように感じています。また、じりつの利用者さんは、車椅子の方がほとんどいません。自宅でのADLより、少しだけ難しいことをすることはリハビリのコツだからです。自宅や他施設で車椅子であっても、じりつに通所したら椅子に座る、介助であっても歩く、そして好きな作業にとりくむ。このことを変わらずにずっととりくんでいると、本当に皆さん元気になります。同業の方が見学にこられると、まずこの光景に驚かれます。車椅子の方が少ない、ぼーっとしている方がいない、自由に活発だとみなさん言うて下さいます。もちろん車椅子をはずすことも、なにか夢中になれる作業を提供できることも、そこには作業療法士としての「技」があります。その人にとって意味があること、その人の想いを汲み取ったうえで難易度の調整をすること等、日々細かな調整をしながら走り回っているのです。

私が、作業療法士の免許をとったとき、日本にOTは3万人もいない時代でした。それが今では6万人を超えています。最近、これからの作業療法士は作業療法に+エッセンスがあると良いのではないかと考えています。じりつの社長である近藤OTはもともと音楽の道に進んでいました。じりつではいわゆるカラオケでなく、社長のピアノによる生演奏のコーラスを行っています。実はこれが一番利用者さんに人気です。また、監査役（OT）は編み物や書道の免許を持っており、そのような作業を望まれる方のどんな期待にも応えることができます。私はというと、元々美術の道を志していることがあったOTです。つまり、美術の道を半ばあきらめてしまったという過去があるOTなんです。そんな私ですが現在、じりつでは絵手紙教室や臨床美術教室をサポート、開催しています。絵手紙は監査役と一緒に毎回季節の素材を持ち寄り、皆さんと昔を回想しながらとても楽しく行っています。臨床美術教室は、臨床美術士という資格を取り、指導の先生と一緒に教室をサポートしています。指導の先生

は医学的な知識はありませんので、臨床美術士かつOTである私がサポートすることで、弱視の方、麻痺の方、認知症の方、どんな方でも参加することができています。それらの教室をInstagramで発信をしたところ、大変沢山の反響がありました。一番驚いたのは、ポルトガルのアーティストの女性が、絵手紙作品にとっても興味を持ってくださり、交流がはじまったことです。そしてじりつの絵手紙作品が100枚、ポルトガルで開催されるアートの展覧会に出品されました。また、臨床美術の作品も、北九州市立美術館に出品され、メディアでも取り上げられるような活動となりました。こんなことが自分のOT人生でおこるのか、というのが自身の驚きでした。美術の世界はあきらめてしまっただけで、どんなことでも生かしていけるのが作業療法だと、改めて気づかされました。皆さんに、置き忘れていた自分の夢さえかなえてもらったような気持ちです。

じりつには学生さんもたくさん実習にきますが、ここで「作業の力」を感じて、作業療法士の仕事がどんなものなのか、初めて実感をもって理解することができる様です。じりつに来た学生さんは目をきらきらさせて「OTになりたいです」とあらためて言ってくれます。そんな瞬間が私のもう一つのやりがいです。

私はじりつにおける作業療法はやっぱり「作業」にこだわりたいと思っています。じりつの利用者さんがその「力」を証明してくれているから。

作業がおりなすコミュニティは、生きる糧となります。



陽春のみぎり、皆様いかがお過ごしでしょうか。

はじめに老健についてご報告します。2018年の介護保険法改正で「在宅復帰、在宅療養支援をするための地域拠点となる施設」、「リハビリテーションを提供する機能維持・改善の役割を担う施設」として（法的に）位置づけられました。それに伴い、「超強化型」「強化型」「加算型」「基本型」「その他型」など施設区分が細分化され、当施設のように、超強化型を維持する為には、在宅復帰、在宅支援機能を高める事が必要となります。入院日数が、短縮傾向である現在、地域包括ケア病棟、回復期病棟から在宅復帰目的で入所される方も多く、入院期間内に退院できなかった方の在宅復帰を支援する事は、難渋する事も多いですが、心身機能、心理的側面、福祉用具の選定、利用者、家族への説明、同意といった作業療法士の知識、技術を総動員して目標の自宅退所できた際、「半ばあきらめてたけど、自宅に帰れて良かった」とお言葉を頂く事もあります。このような積み重ねが、約20年作業療法士を続けられている要因かなと思います。また、現在、在宅復帰・在宅療養支援等指標にも携わっており、在宅復帰率、ベッド回転率を考慮しつつ、高稼働を維持するといった駆け引きをする際、観察（Observe）、状況判断（Orient）、意思決定（Decide）、実行（Act）のステップを繰り返しています。この思考過程はリハビリを行う際にも必要であり、リハビリで培ってきた考え方はどの分野でも役にたつなと実感しています。

前回、執筆者の穴井さんとは、リハ学生時代からの付き合いで、20年以上毎年、他の同級生と共に明け方まで呑んでいます。また、大阪の学会で座長をしていた際、卒業以来会っていない同級生の女性の方が、自分の名前をみつけて、セッションにきて質問もしてくれました。座長として大変助かりましたし、同じ期間、同じ場所で学んだ事は、「縁」だと思うので、皆さんもちょっとした縁を大事にしてみたいかがでしょうか。



当施設の広報部長と老健のマスコットキャラクターです

